【現代社会学科　国語基礎学力型】

<table>
<tr><td rowspan="4">設問一</td><td>a</td><td>b</td><td>c</td></tr>
<tr><td>束縛</td><td>脳裏</td><td>軌跡</td></tr>
<tr><td>d</td><td>e</td><td>f</td></tr>
<tr><td>還元</td><td>潮流</td><td>警戒</td></tr>
<tr><td rowspan="4">設問二</td><td>ア</td><td>イ</td><td>ウ</td></tr>
<tr><td>ぜいじゃく</td><td>ぎじ</td><td>しゅうえん</td></tr>
<tr><td>エ</td><td>オ</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>へいそくかん</td><td>いんぺい</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">設問三</td><td>見方①</td><td>容疑者の個人的な特性に由来する、きわめて特殊な出来事
［原因をもっぱら容疑者の個人的な環境や異常心理にカンゲンする見方］</td></tr>
<tr><td>見方②</td><td>「格差社会」がもたらした悲劇</td></tr>
<tr><td>設問四</td><td colspan="2">④</td></tr>
<tr><td>設問五</td><td colspan="2">告発者</td></tr>
<tr><td rowspan="2">設問六</td><td>問①</td><td>「トラウマ」、「オブセッション」、「多重人格」などの概念が、本来の文脈を離れ広く一般的に用いられる例に見られるように、心理学や精神医学の知識や技法が社会に流布しているという社会現象。（91 字）</td></tr>
<tr><td>問②</td><td>本来、社会的な問題として公共的に取り組まれてしかるべき事柄が、もっぱら個人の処理すべき課題として受容され、個人的な負担を強いるという結果をもたらしかねません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">設問七</td><td>問①</td><td>「社会問題の心理（学）化」によって社会問題は社会問題として認識されず、個人的に処理すべき事柄と意識される。それゆえ社会問題は個人的な不満になって蓄積するのみである。その結果容疑者は不満の原因を見定めることができない無力な存在となってしまうのである。</td></tr>
<tr><td>問②</td><td>容疑者が秋葉原でトラックを暴走させ、人々にナイフで無差別に襲いかかるという犯行に及んだ原因を、非正規労働者を取り巻く過酷な労働環境や不安定な生活ぶりといった社会的背景に帰するのではなく、彼の個人的な環境や性格、内面および異常心理に還元した場合に見出される、本人の純粋な脆弱さや心理的欠如。（144 字）</td></tr>
</table>